

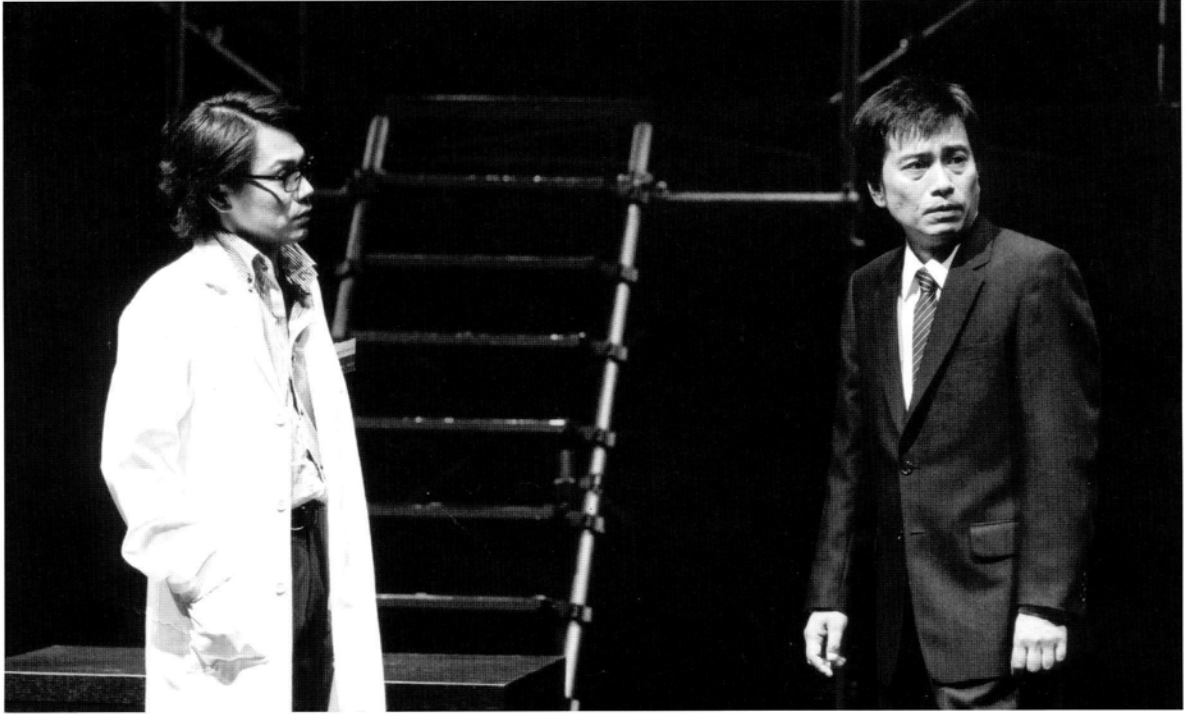
市民劇場



2008
VOL.206

豊橋演劇鑑賞会会報 ●発行2008年7月3日(木)

サークルを基礎にした民主的な会員制をみんなの手で発展させましょう!



本物にふれたい、見たい、感動したい!

演劇鑑賞会が出来る30年前は、豊橋では、有名なプロの演劇や絵画、音楽などに触れる機会は殆どありませんでした。名古屋まで時間とお金をかけて見に行くことなど、なかなか出来ないことでしたので、豊橋で一流の劇団が安い会費で見られるなんて、うれしい限りでした。

たとえ一流でなくても、芝居も音楽も絵画も、その道で精一杯練習を積んで発表する作品は、どれも心を打ちます。スポーツの世界でも同じです。演じる人の精一杯の熱演に感動し、励まされるのです。人間って素晴らしい!ってね。

特に、演劇は俳優さんの演技力だけでなく、脚本の素晴らしさは勿論、舞台装置、音楽、照明、衣裳など、その芝居にふさわしく工夫されていて、毎回見ごたえがあり、楽しめます。

入会のお誘いをすると、好きなものを好きなように見たいという人がいますが、好きなものだけに限定してしまうのはどうでしょうか。素晴らしいものは素晴らしいのであって、好き嫌いはあるにしても、それぞれが持つ素晴らしさを受け止めたいたいです。

本物にふれたい、見たい、感動したい。いくつになっても感性を磨き続けることは、人間の成長に必要なことではないかと思います。年齢を重ねることでより深く感じる事が出来るよう、感動する心が枯れないよう、お芝居を見続けるつもりです。

まんさく 星野鈴美

ケイタイでんわの電源は切りましょう!



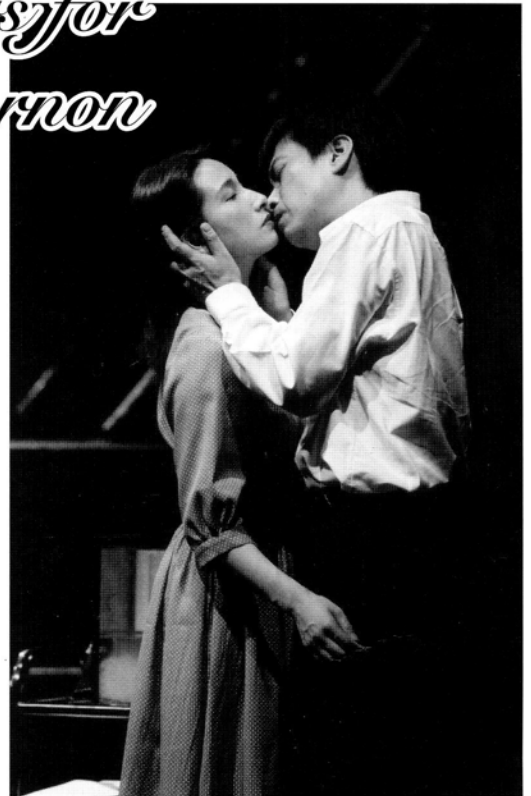
アルジャーノンに 花束を

*Flowers for
Algernon*

原作：ダニエル・キイス
脚色：菊池 准
演出：三輪えり花

世界中が涙したSFが舞台になって
新たな感動を届けます。
嵐の運命を生きたチャーリーの人生に
あなたは何をみつけますか……

7月3日(木) 6:45 開演
4日(金) 1:30 開演
6:45 開演(3ステージ)
上演時間：2時間40分(休憩15分含む)
豊橋勤労福祉会館



ものがたり

32歳になっても幼児の知能しかないチャーリー。昼間はパン屋でこき使われ、夜は精薄者センターで勉強の毎日。それでも人のいい彼は、少しも挫けずに陽気に暮らしていた。

そんなある日、彼に夢のような話が舞い込む。大学の偉い先生が頭を良くしてくれるというのだ。「しじつでりこうに。」と彼は大喜びをする。

人体実験の候補を選ぶテストの日、彼は一匹の白ネズミ、「アルジャーノン」と迷路ゲームの末負けてしまう。そしてチャーリーはアルジャーノンのようになりたいと懇願し、人類初の実験台に選ばれる。

手術後、チャーリーには毎日の経過報告と勉強が課せられる。ある日、驚くことが起こった。以前は掃除や配達ぐらいしか出来なかった彼が、粉練機を動かしてしまったのだ。

それからの進歩はめざましかった。だが、夢にまで見た世界は決して素晴らしいものではなく、そこにはこれまでの彼には見えなかったものが暴き出され、初めて経験する愛への苦悩も待ち受けていた。未知の世界で困惑しながらも、彼のIQはすでに189を超えていた。チャーリーは実験の結果を自ら解くことを決意し、アルジャーノンと共に姿を消す。やがて、アルジャーノンの行動からチャーリーは自分の将来を知ることになる……。

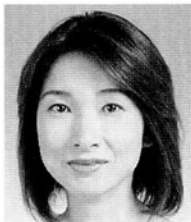
CAST



ニーマー教授
田中正彦



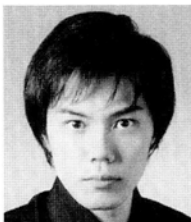
ストラウス博士
石波義人



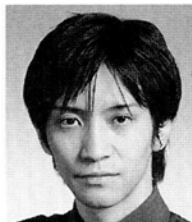
アリス・キニアン
服部幸子



チャーリー・ゴードン
平田広明



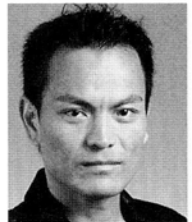
バート・セルドン
中西陽介



フランク・レリイ
奥田隆仁



ジョー・カーブ
鉄野正豊



ジンビイ
石田博英



父親マット
辻つとむ



妹ノーマ/若い女性
田村真紀



フェイ・リルマン
松谷彼哉



母親ローズ
林佳代子



パン屋の主人ドナー
家主の婦人
江川泰子



ワインズロウ/女性委員
看護婦/バーニス
寺内よりえ

演出家からあなたへ

なぜネズミのアルジャーノンは迷路を走りますか？

餌を得るためです。

餌とはアルジャーノンにとって、なんですか？

生きる糧です。

では、人間にとって生きる糧、とは？

アルジャーノンの生き様を味わいながら、私はこれを、自分が生きていこうという事実を認めてもらうこと、だと思に至りました。

「あなたがここに存在してくれて良かった」と、人は誰もがそう言われない。

その一言があれば、人生はもつとすばらしくなるはず。その一言を得たいがために、人間は走る。

出口は見えない。出口を探してというより、その一言の書いてある紙がぶら下がっているゴールを求めて。

迷路の壁を作るのは、人類が積み上げてきた挫折した死体の累々たる山だ。走る私たちはしかし、それに目もくれず、走りながら頭上の光り輝く青空を仰ぐ。爽やかに駆け抜ける者、もがきながら遮二無二進む者、喘ぎながら這っている者。どれも皆、大事なかけがえない生命体、人間。

幸か不幸か、これらの人間たちは、走っているもの同士、関わりを持たずにいられないのです。

その関わりの凝縮した様を、チャーリーが演じてくれます。彼ら一人一人の息遣いにどうぞ耳を澄ませて下さい。そして、あなた自身が存在していることを噛みしめて下さい。

(パンフレットより一部転載)

東京原子核クラブ



◎出演(配役順)

田中壮太郎
石井揮之
若杉宏二
小飯塚貴世江
西山水木
田中美央
二瓶鮫一
檀 臣幸
佐川和正
渡辺 聡
外山誠二
佐藤 滋



作 = マキノノゾミ
演出 = 宮田慶子



【あらすじ】

昭和7年、東京本郷にある下宿屋「平和館」理化学研究所に勤める若き物理学者・友田晋一郎は、研究所のレベルの高さに自信を失い、京都に帰ろうとしていた。そんな折、同じ下宿人で理研の同僚・武山が、友田の提唱した物理学上の仮説が主任の西田に認められたという朗報を伝える。

ノーベル物理学賞を受賞した朝永振一郎博士の青年時代を、劇作家マキノノゾミが渾身の力で描いた青春群像劇。「平和館」の住人である奇妙な若者たちが織りなす青春を謳歌するユーモアな群像劇。1997年、読売文学賞受賞作品。

例会日 9月12日(金)6:45～・13日(土)1:30～(2ステージ) / 豊橋勤労福祉会館

【東京公演での観客の声】

昭和7年7月から21年6月までの、理化学研究所に近い本郷の下宿屋「平和館」での出来事。若き日の朝永振一郎をはじめ、理研のメンバー、新劇役者、ジャズピアニスト、ダンサー、東大野球部などの若者達を、戦争へ進んでいく時代の流れをうつしながら、あたたかく、せつなく描きたい舞台でした。終幕、原子爆弾についての桐子と友田、小森との会話をからませ、楽しみながら、ほろりとしながら、考えさせられた舞台でもありました。

第33回定期総会報告

——サークルがつくる演劇鑑賞運動——

5月31日(土) 豊橋勤労福祉会館 小ホール

議事の内容

5月31日(土) 午後1時より豊橋勤労福祉会館小ホールにて第33回定期総会が開催されました。

75サークル82名の会員が出席しました。(委任状190サークル)劇団・創造団体からは、劇団俳優座の制作部長・山崎菊雄さん、劇団昂の制作・村上典子さん、俳優座劇場の制作・箱田雅幸さん、劇団スイセイミュージカルの女優・相原奈保子さん、劇団文学座の制作・矢部修治さん、劇団東演の制作部長・横川

功さんらが出席され、グループ討論と一緒に参加してもらいました。

はじめに07年度の活動報告と会計報告が行われ承認されました。07年度は会員数をみると106名も減少して大きく後退しています。その一方でサークル数が12例会連続で増えていることから、サークルクリアを前進の足がかりにして、08年度は演劇鑑賞会の最大の特徴であるサークル活動をより豊かなものにしていくことが確認されました。今回の総会では、活動方針案の提案の後、08年度の運営サ

クルごとに分かれて、グループ討論を行いました。劇団の方にも参加してもらい、自分たちが運営する例会作品への期待を高めることができました。また、活動方針案を運営サークルごとに、具体的に深める話し合いもでき、例会成功に向けての目標も話し合われ、大いに盛り上がりました。

08年度は、サークルにこだわり、サークルがつくる鑑賞運動を前面に押し出して、サークルの機能を高める活動をしていく事を確認しました。また、学生会費千円の提案がされ承認されました。

2008年度活動方針

「日本演劇の民主的発展」を演劇鑑賞運動の理念にして、運営サークルを運動の本流にしていきましょう!

- (1) サークルがつくる演劇鑑賞運動を前進させましょう。
 - ① 新しいサークルづくりを積極的に進めましょう。
 - ② サークル集会を開き、話し合いのできるサークルにしていきましょう。
- (2) 運営サークルを活動の中心にして、すべての例会を成功させましょう。
 - ① 運営サークルに参加するときは、1名以上の新しい仲間を迎え、すべての例会で前例会クリアを実現させましょう。
 - ② 運営サークルには、代表者だけでなく、複数で参加しましょう。
- (3) ブロック統一企画で、魅力ある例会ラインアップを創り上げていきましょう。
- (4) 豊橋に演劇専門劇場をつくる会と協力して、劇場建設運動を進め、演劇活動のためのより良い環境づくりをめざしましょう。
- (5) 全国の鑑賞団体、創造団体、地域の文化・民主諸団体と連帯し、文化発展のために交流を深めていきましょう。
- (6) 文化活動を阻害する消費税率アップに反対していきましょう。平和で、豊かな文化生活を保障するために、平和憲法を守る運動に連帯しましょう。

制度改定について

【現行】

会費は月額、一般会費二、五〇〇円、18歳未満一、〇〇〇円

【改定】

会費は月額、一般会費二、五〇〇円、学生会費一、〇〇〇円

*入会金は現行の一般三、五〇〇円、学生一、五〇〇円とする。

【改定趣旨】

① 現行の18歳未満の会費一、〇〇〇円を、「学生会費」として改め、大学生まで枠を広げて、適用していきたい(大学生以外にも、専門学校生等々も同じ扱いとする)。入会の際に、学生であるかどうかの判断は、学生証の有無で判断する。

② 演劇鑑賞会の次世代を担う会員として、多くの若者を集結させる

ためには、今から現在の会員と共に演劇を覗くつづき、若い感性で演劇を語り合う場が、是非とも必要である。学生時代に、演劇を覗くつづけていくことを可能にする条件を整え、演劇の楽しさや生の舞台の感動を若者に広げていくことを目的に現行の会費を改定したい。

③ 2007年度の大学生の会員は、2名でした。今後、若者の会員を増やし、若者のサークルをつくり、鑑賞会の活動の主体となるようにしていくために、入会を積極的に進めていく条件づくりのひとつにしていきます。

2008年度 幹事会役員

代表幹事 森下いすず (ZAO)

事務局長 大井則生 (イスク)

幹事 新木高子 (枝折戸)

幹事 (事務局員) 安藤美佐子 (三色たんぽこ)

幹事 伊藤泰治 (エメラルド)

幹事 井上幹雄 (堀郷)

幹事 小野田利子 (松竹梅)

幹事 加藤慶吾 (モヤリリーBE)

幹事 加藤のり子 (してこぶし)

幹事 坂井あさ代 (モヤリリー亜紗)

幹事 清水美枝子 (テンターウマン)

幹事 杉浦伸枝 (池のこい)

幹事 松家民枝 (赤ずきん)

幹事 宮瀬博之 (おりえんと)

幹事 山科淳子 (赤ずきん)

会計監査 石川ひとみ (トモチ)

会計監査 水藤典子 (かんのん)

総会記念講演

11月例会

俳優の加藤健一さんの楽しいトーク

総会の議事が終了した後、総会記念講演として、11月例会、加藤健一事務所公演・『詩人の恋』に出演される俳優の加藤健一さんのお話を聞きました。

加藤健一さんは、静岡県出身で、1980年に加藤健一事務所を設立し、心底芝居好きの俳優を集めて舞台づくりをされています。また1986年には俳優教室も開設され、俳優養成にも尽力されています。劇団員は加藤健一さんご自身のみで、上演プログラムからキャストイング、演出、照明、音響、美術、衣裳など、すべてにわたって加藤さ



んがプロデュースするそうです。

これまでに、第167回例会『煙が目にしみる』、第192回例会『木の皿』で豊橋にいられています。今年の11月例会、音楽劇『詩人の恋』では老声楽家のマシユカン教授役で出演されます。加藤健一さんが演劇の世界に入られたきっかけや演劇に対するこだわり、さらには『詩人の恋』の見どころなど、50分間存分に語ってもらいました。

演劇界に入られたエピソードも大変面白いものでした。小沢昭一先生の劇団に入団テストに行ったら、面接で小沢さんに「君、お金あるの？」しか聞かれなかったそうです。その後つかこうへい劇団に入り、「熱海殺人事件」などに出演して活動していたのですが、つかさんが直木賞を受賞した折に劇団を解散してしまつたので、仕方なく一人で活動することに。自分の持ち金は90万円だったとか。その時、めぐり会った作品が『審判』で、本屋の立ち読みで涙を流しながら読み終えてしまつて、これをぜひやりたいと思つて、80年に加藤健一事務所を立ち上げたそうです。今はテレビや映画にも殆ど出演されず舞台一筋に打ち込んで



おられます。演劇の仕事は仕事とは思えずに、遊びの延長のようなもので、自分にはこれかできず、何時間やつていても苦痛ではないそうです。また作品選びについても、一年に数百本の台本を読み、自分の演れそうな作品を厳選しているとか、寝ても覚めても演劇のことばかりのようです。『詩人の恋』では、声楽家の役を演じるので、数年前から声楽の先生について勉強しているとのこと。今から舞台での披露がたのしみですね。

総会に出席して

紫苑・杉浦さとり

今までのお誘いのしかたは「私たちのサークルに入って、いっしょにお芝居を観よう！」でした。今年度新しいお誘いの試みとして提案された仕方（お友だち誘って、3人でサークルをつくつてお芝居観ませんか？）を実践してみようと思います。

偶然、総会でとなり同居させた方が、私の住んでいる町の方でした。驚きました。身近にも、このような方（演劇を見ている方）がいるんだ。豊橋から少し離れた地域であるので、何か連携がとれるといいな。これは収穫でした。

加藤健一さんの講演は、力強いお話でした。応援したい気持ちになりました。役者として真摯な姿勢に心を動かされました。

桔梗・森田節子

会員の皆さんの熱気に心強いものを感じました。演劇が衰退するところ、戦争が起ころ前に弾圧されるのは、必ず文化人、



文化運動、演劇活動です。鑑賞会の活躍は平和運動です。地球が存続するためにも、みんなが頑張らねばなりません。今日参加して、未来は明るいかと思いましたが、これが間違いでないことが証明されることを祈っています。

テンダーウーマン・清水美枝子
初めての分散会形式での総会でしたが、みなさんの意見が聞けてよかったです。代表者一人でかかえこまないで、サークル会も開いていけるようにしたいと思います。

加藤健一さんから、みなさんでもお話していただき、良かったです。シューマンの「詩人の恋」はクラシックの本格的なボイストレーニングをつんで、お金もかかっているようですので、大勢の方にお誘いしていきたいです。

ほたる・高尾

初めて総会に出席して感じた事は、幹事さんの大変さがわかりました。もっと協力していきたい。

わたしたちは、文化活動に打撃を与える
消費税の税率アップ並びに文化の自由な
表現活動を侵害する言動に反対します！

私たちは、いま年金問題、後期高齢者医療制度問題、石油や穀物の高騰など、消費を極端に冷え込ませ、「生活苦」に喘ぐ深刻な状況のなかにあります。日本国憲法で保障された最低限の生活保障もままならない状態を政府自らがつくりだしているのですから、私たち国民の不満はつるばかりです。また、税金や年金の使い方が、無駄な公共施設や公共事業に湯水の如く投入され、大企業に奉仕するかたちで蕩尽されてしまっていることです。

そのツケを国民に回そうとする最もたるものが、いま政府がひそかに企てている消費税の税率アップです。現行の消費税率5%を2桁の10数パーセントにアップすることが、マスコミや新聞等々で報道されています。政治の腐敗や官僚の腐敗と真剣に向き合い、それをただすのではなく、消費税というかたちで、財政赤字の「穴埋め」を国民に押し付けるやり方は、断固として許すわけにはいきません。

私たちの実生活の中には、心を豊かにする文化生活も当然含まれています。これ以上の税率アップが実施されますと、生活費の中から文化的な費用を削る傾向に、ますます拍車をかけることになります。さらに、市民活動をしているあらゆる分野の市民・

非営利組織にとって、消費税率のアップは、想像を越える諸経費の増大によって、組織そのものが立ち行かなくなってしまいます。

私たちは、劇団と共に自立した独自の演劇文化を会員自らの手で創り出しています。この素晴らしい演劇文化を守り、発展させていくためにも、消費税税率アップに反対するとともに、劇団・創造団体並びにあらゆる文化団体・市民団体と共にそれを阻止する運動に連帯していきましょう。

さらに先頃、映画『靖国』の上映に関して、ある国会議員がこの映画を「反日映画」として発言したことで、上映自粛が各地に広がり、大きな波紋が広がりました。この映画の製作には、公的な助成金も出されているようですが、しかし、こうした文化・創造活動に対する権力側からの「制限する」言動は、思想・信条並びに表現の自由を侵害し、豊かな芸術・文化活動を阻害する許されない行為です。また、権力側が「気に入る文化」を一方的に奨励する流れをつくりだしていく危険性もはらんでいます。これは、決して映画だけに限ったことではありません。その危険性を直視し、そうした流れを絶対に食い止めなければなりません。私たちは、演劇鑑賞運動の理念である「日本演劇の民主的発展」をどこまでもめざし、芸術・文化の自由な創造活動を「制限」しようとするあらゆる動きに対して断固反対します。

2008年5月31日

豊橋演劇鑑賞会 第33回定期総会

総会に出席して（続き）

三人姉妹・辻

運営サークルで1つの机を囲む分散討論が良かったと思えました。これからの例会と一緒に運営するサークル代表者の顔合わせになり、とりくむ劇の内容を劇団制作者の方のナマの説明がきけて、そのとくくむ姿勢のオーラをうけとれました。

コメット・胡麻本明子

久しぶりに総会に出席しました。サークルの歴史と入会歴は長いのですが、サークル活動はほとんどしていないし、現状維持のまま停滞しているのが現状です。大井事務局長の報告で、あらためてサークル活動の必要と今の日本の文化状況をひしひしと感じました。一人で芝居を観ることが多いのですが、今年はサークルのみなさんとの話し合いを持ちたいと思いました。

同級生・伊東雅代

久しぶりに出席しまして、席がいつもと違っていてとまどいましたが、同じ運営サークル

ということで親近感があり良かったと思います。

えん・竹内

久しぶりに総会に出席して新鮮な気持ちを感じました。まず会場の設定が良かったです。運営サークル毎のテーブルが発言しやすかったです。体に気をつけて、今年度決意したことを頑張ってみようと思います。

同級生・山上和子

総会には今までに2回しか出席していませんが、今回出席してみても、グループ分けでとても活発な意見が出て良かったと思いました。

三河三座・水谷

はじめて総会に参加しました。良かったと思います。会の理念もよく理解できます。周囲はみな仕事持ちなので、会員拡大はとて難しそうですが、少し若い世代に期待して努力してみます。

テンダーウーマン

みなさんの鑑賞会に対する熱意を感じました。



全国の鑑賞会の仲間と劇団・創造団体からすてきなメッセージが届きました

鑑賞団体からのメッセージ

(2008年 第33回定期総会)

岡崎演劇鑑賞会

第33回総会おめでとうございます。厳しい状況の中で頑張ってみえる皆さんの活動に敬意を表します。

議事からは、運営サークルの活動やサークルを増やす努力など、会員それぞれとやってみる様子なのに、会員を増やすのは難しいことですね。私たちが皆さんの活動に頑張りたいと思います。力を合わせ前向き運動を進めまていきましょう。

旭川市民劇場 幹事会

第33回総会の成功と発展を祈念して、サークル活動を継続されている、貴会の活動に敬意を表します。この成果が実を結び、必ず、会員数を含めた組織全体の発展に繋がるものと信じています。旭川は、なかなかサークル数クリアは継続できませんが、会員数だけは昨年7月から5例会連続クリアして、昨年から、73名回復して、現在、2,233名(4月例会)といった状況です。今後は、サークル数を含めて連続クリアを目指したいと思っています。また、存続問題に悩まされています。豊橋労働福祉会館が豊橋の市民文化団体の皆様の懸命な努力で存続が決まり、本当におめでとうございます。旭川市公会堂も2年前に存続問題が生じ、全国的な支援を得て存続、改修が決まりました。鑑賞運動の充実とホール問題の改善をすて、ともに連帯しながら発展を目指しましょう!

和歌山演劇鑑賞会

豊橋演劇鑑賞会の第33回おめでとうございます。

サークル代表者、会員の皆様の日頃の努力に心より敬意を表します。私たちは演劇を観る喜びだけでなく、話し合っつて会を広げていく連帯の喜びもあります。そして、ものをつくるという人間の行為はすばらしいものですが、心を作る作業が、まさに私たちの文化運動だろうと思います。こんなオモシロイ運動で人生を楽しみましょうよ!

姫路市民劇場

豊橋演劇鑑賞会の皆さま、第33回定期総会開催心より喜び申し上げます。

総会討議資料によるとサークル数を着実に増やされていますが、本当に素晴らしい成果だと思います。鑑賞運動の発展は、土台(サークル)がどれだけしっかりしているか、どれだけ多くの柱を支えているかが肝要です。いま全国的にも鑑賞運動がたいへん厳しい状況に追い込まれていますが、土台をしっかりした運動を続ける限り、必ず発展道筋は見えてくると思います。これからも豊橋の地で演劇鑑賞の輪を守り、広げて、日本演劇の民主的発展のために頑張ってください。

広島市民劇場

第33回総会おめでとうございます。32年間という長きにわたり、豊橋の街に演劇鑑賞という自主文化を育て、守り、発展させてこられたサークル、会員の皆さんの努力に心から敬意を表します。運営サークルを本流にした豊かな運動で益々発展されることを期待します。

劇団・創造団体からのメッセージ

劇団 民藝

第33回おめでとうございます。市場原理というメカニズムのなかで、一人ひとりの生活の中身が切り捨てられていくような世の中です。けれども討議資料にあるように、私たちが「誇りと確信」をもって楽しく高らかに歩みを進めていきたいと思っています。

鑑賞運動におけるサークルの発展は、輝かしい果実です。人と人とを新しくつなげ、信じあうころろを共に喜びあえる場です。さらに討議を重ねられ、感動のドラマにみちた総会でありましたように。 2008.5.31

秋田雨雀・土方与志記念 青年劇場

豊橋演劇鑑賞会 第33回定期総会おめでとうございます。

社会的に大変厳しい状況のなかで、演劇を通じて人々の連帯の輪を広げていらいらっしゃる皆様の平素の努力に心より敬意を表します。「人の命」が軽視されていることを実感する日々ですが、それはとりもなおさず、「人の可能性」をも見失わせてもいます。演劇は人間の営みの可能性を探求する芸術でもあり、それが鑑賞する皆様の心に届く時、深い感動を生みます。現実社会を深く洞察しながら、理想を見失うことなく民族や宗教、経済的利害を乗り越えた人間の連帯の可能性を一緒に探究していきます。また、昨年「銃口」では大変お世話になりました。今年は、「族譜」が全国の実行委員会公演を行います。近い将来に皆様にお目にかかれることを楽しみにしています。最後になりましたが、総会の成功とこれからの豊橋の運動の前進を心から期待しています。

劇団 昂

第33回定期総会開催おめでとうございます。

ここ数年、演劇をとり巻く状況は更に厳しいものになってきています。その中で、私たちが著名に加わり、願っていた豊橋労働福祉会館の存続が決まったことは、朗報のひとつでした。このことをこれからの足がかりに今後も地域の皆さんとの連携のなかで、活動を更に活性化させていただきたいと期待しております。この7月、「アルジャーノンに花束を」で、やっと豊橋の皆様にお会い出来ます。皆さんが長年築かれた人と人との絆を、作品を介して更に広がるよう舞台から感動をお届けします!ご期待下さい!

俳優座劇場

豊橋演劇鑑賞会の皆様、第33回定期総会開催おめでとうございます。

そして勤労福祉会館の存続も決まったとの事、本当に良かったですね。私も俳優座劇場は、9月に「東京原子核クラブ」という作品でお世話になります。研究所に勤める若き物理学者と、同じ下宿に住む仲間達の、愚かしくも美しい青春の日々を描きながら、戦争に向かつてしまった国の歪みを描きます。どうぞご期待下さい。お会い出来る日を楽しみに、皆様の益々の活躍とご発展をお祈り申し上げます。

劇団 NLT

豊橋演劇鑑賞会 第33回定期総会開催おめでとうございます。討議資料を頂き、サークルクリアが12例会続いていることを知りました。厳しい中にも皆さんの取り組みが実を結び直前ともう印象を持っています。会員数やサークル数が例会ごとにクリアされる時には、芝居の素晴らしさ、鑑賞会の魅力、仲間と観る演劇の楽しさが語られてい

ることでしょう。数字を追うことなく、芝居を観る喜びが語られることが、豊橋演劇鑑賞会の発展に繋がると思います。皆さんの期待に応えられる芝居を劇団は作らなければ、と心構えも新たに身を引き締めております。演劇文化の発展に創造の側である劇団と鑑賞の側である演劇鑑賞会は、不可欠の関係です。これからも共に頑張ります。総会での活発な討議を期待しています。

劇団 文化座

豊橋演劇鑑賞会の皆様 2008年度第33回総会おめでとうございます。

1月には「天国までの百マイル」で、たいへんお世話になりました。運営サークルの皆さんを中心に、演劇鑑賞を通して豊かな暮らしを築こうと不断の努力を続けていらつしやる皆さまに、とても勇気づけられたことを昨日のように思い出します。

私たちがそんな皆さんに負けないよう、精進を重ねてまいります。また新しい舞台で皆さんにお会いできる日が楽しみです。豊橋の皆さん、今年も一緒にがんばっていきましょう。

テアトル・エコー

豊橋演劇鑑賞会第33回総会おめでとうございます。

昨年5月は「ルームサービス」例会でお世話になりました。テアトル・エコーです。その節は運営サークルの方々大変お世話になりました。事前の演劇講座、例会当日のお通しのちらし寿司、ロビー交流会、バックステージツアー等、例会以外にも様々な交流が楽しかった、あつという間の豊橋二日間が鮮やかに蘇ってきます。僕たちはその後も元気に旅公演をしています。

皆さんがこんなに努力しているのに、会員数が減少しているのが今の時代の現状です。けれど、サークル数を連続

して増やし続けているとの事、これは私たちが劇団にとつてもうれしいニュースです。豊橋で芸術文化を語るサークルが増えているということに希望を見出し、皆さんその努力が、これから益々豊かに実りますよう祈っております。第33回定期総会の成功をお祈り申し上げます。

イツフオーリーズ

豊橋演劇鑑賞会々員の皆様、第33回定期総会おめでとうございます。

昨年のおれたちは天使じゃない！例会では大変お世話になり本当に有り難うございました。久々でありました中部・北陸ブロック公演は、まさしく仲間とともに進める活動の喜びを実感する事が出来た公演でした。

我々の活動をとり巻く社会状況は厳しく日毎に悪化していますが、私たちが目指す、人間を大切にすることを明るい将来を、確信してこれからも一緒に頑張ります。

豊橋演劇鑑賞会の今後更なるご発展と、第33回定期総会のご成功を心よりお祈り申し上げます。

劇団 東演

「後期高齢者医療制度」に端的にあらわれていますが、なんと想像力の欠如した仕打ちでしょうか。後期というからには、当然、末期、前期、中期、初期と、人を何かに区分しようとする思想がもろ見えです。日本もここまで荒れてしまったのかと、恐ろしくなります。

でも、そんな社会を変えられるのも私たちです。演劇が生活の中に根ざして、より豊かな心が育まれていく……私たちに、とても力強い「想像力」があります。困難な時こそ、ロマンを語り、困難な課題に挑戦して下さい。劇団東演も挑戦します！「臨時病室」を

2010年には例会で……

関西芸術座

第33回定期総会おめでとうございます。世の中、暗いニュースが増え、ほんとに住みにくい国になりました。お芝居だけでなく、何でも話せるサークルを作ってください。文化・芸術を取り巻く状況は、年々厳しくなりますが、共に行なうべきではありません！！

例会にお伺いできるような、いい作品を創っていきます。今後とも、よろしくお祈りします。実り多い総会でありますように……

東京芸術座

豊橋演劇鑑賞会の皆様、定期総会の開催おめでとうございます。何時も様々な問題を抱えながら進めたい鑑賞運動は、決して楽なことではないと思いますが、人との関わりが薄らいでいる現在、運営サークル活動を通じて、少しでも人との関わりをつくらうという鑑賞運動は素晴らしいものです。

東京芸術座は例年で創立50周年を迎えますが、新劇運動を通じて、人々に愛と勇氣と情熱とを育てることの出来るような、芝居づくりをめざしていきます。お互いに頑張りましょう！豊橋演劇鑑賞会の発展を祈って！

京楽座

豊橋演劇鑑賞会第33回定期総会の開催、おめでとうございます。

京楽座は、今秋ひとり芝居「しのだづま考」をひき上げて、ロシア各地を巡演いたします。モスクワからシベリアへ、狐一匹旅をして来ます。帰国後すぐに、11月紀伊国屋サザンシアターでの新作「アウトロー・We」（杉浦久幸・作／西川信広・演出）の上演です。ぜひおはこび下さい。「中西和久のエンケン」も来春、再演予定です。

劇団 銅鑼一同

第33回定期総会開催 おめでとうございます！

討議資料によりますように、うかがかしている、とんでもないことが決まっています。世の中です。そうさせないためには、私たちが常に世の中の動きに敏感でないとイケないと思います。演劇鑑賞会におけるサークルは、地域の中で顔が見え、演劇を通して様々な事が話し合えるとても貴重な存在で、ますます重要な存在になってくると思います。私たちがこれから豊かに社会を反映する舞台を創り続けていきたいと思いますので、よろしくお祈り致します。

東京演劇サンサンブル

豊橋演劇鑑賞会の皆様、第33回定期総会おめでとうございます。

日々の方々の努力の積み重ねで今日を迎えられた皆様に敬意を表するとともに心よりお祝い申し上げます。様々な困難をも乗り越えて、豊橋演劇鑑賞会がここにあるのは舞台に出会う楽しみはもとより、例会をみんなで創り上げながら地域に根ざした鑑賞運動をされてきたからでしょう。

東京演劇アンサンブルも一昨年劇団代表の広渡常敏を亡くしましたが、広渡の意志を受け継ぎ演劇運動を続けて行きたいと思っています。昨年追悼公演をした広渡の原点とも言える「明日を紡ぐ娘」を6月に再演します。サークル運動の原点でもあるこの舞台は、鑑賞運動にも通ずるものです。この作品で皆様にお会いできないものかと思っています。

厳しい社会状況の中で鑑賞会も劇団も力を合わせてその真価を発揮して、この困難な現状を切り開いて行きたいものです。豊橋演劇鑑賞会がますます発展されますことを心より願っています。

シルバライニング

第33回定期総会おめでとうございます。社会的、政治的混乱期にあつて、今こそ文化運動が求められる時代であると思ひます。会場問題も一応は解決できたといえ、まだまだ問題は山積していることと思ひます。より優れた鑑賞活動をするには演劇に適した劇場をつくることも大切で、豊橋に演劇専門の劇場を創るために、会員の皆様の益々結束と発展をお祈り致します。

新しい演劇の夜明けのために、お互いがんばりましょう。鬱積した社会の歪みや、犯罪を吹き飛ばすように！総会のご成功と皆様の益々のご発展をお祈りします。再び皆様と例会でお会いできることを楽しみにしています。

劇団 1980

豊橋の会員の皆様、お久しぶりで御座います。

私共劇団1980は、「素劇 あ々々京行進曲」を豊橋で公演して以来、「ええじゃないか」という芝居を、東京、韓国、ブラジルで行つてまいりました。この「ええじゃないか」と云う運動は、なんと豊橋から始まって、全国津々浦々に伝播し、民衆のエネルギで明治維新を進めたと言ふ事だそうで、この芝居の登場人物たちの幸せを求めて力強く生きていくさまに、韓国では八千人、ブラジルでは十一万人の観客が大いに感動し、全員がスタンディングオベーションのアラシでありました。やっついている僕らは本当に気持ちよかったです。

さて話は変わりますが、3年前、箱と紐の芝居「素劇 あ々々京行進曲」は、今年10月に、初演に戻り浅草木場亭で行います。ぜひあの感動をもう一度。

劇団 朋友

豊橋演劇鑑賞会の皆様、第33回定期総会の開催おめでとうございます。

コミュニケーションの欠如が連日の事件報道の中で叫ばれている現在、私たちの活動こそが、たとえ地道かもしれませんが、私たちが望む人間社会を創造する確かな一歩だと、共に確信しながら、次へまた一歩進んで行きたいと思ひます。

全国の鑑賞会を取り巻く社会状況も、また劇団を取り巻く状況も大変厳しいものがあります。ですが、演劇を愛する原動力を失わずに、未来を見つめて、共に努力しながら、次代へと継承していきたいと思ひます。賞鑑賞会でも会員数の減少はとも残念なことではあります。サークルという柱が増えていることは明るい光だと思ひます。笑顔を絶やさず共に進んでまいりましょう。今後益々のご発展をお祈り申し上げます。

劇団 青年座

豊橋演劇鑑賞会の皆様へ
今年、青年座は「評決一昭和三年の陪審裁判」を上演いたしました。昭和3年から18年迄日本でも陪審裁判が行われていたのですが、これは東京で初めて行われた陪審裁判をモデルにした芝居です。来年5月から日本でも裁判員制度が始まります。無作為に選ばれた国民が司法に参加するわけですが、改めて国家と個人の関係を考えさせられます。私達は演劇を通して今を生きていることや未来を考えたいです。演劇の大きな役割です。演劇鑑賞会ではサークルの中で多くのことが語られます。仲間がいるからです。その時、私たちの創る芝居がただ消費されるだけでなく、生産的なものになっていきます。手を携えて豊かな文化を創っていきましょう。

豊橋演劇鑑賞会第33回総会が実りある討議の場になることを心よりお祈りいたします。

Q 昭和初期の帝大生間宮龍彦の役作りに苦心された事はありますか。

(A) 昭和8年頃のお話なので、年表を見たり歴史の本を読んだりですとかしてその時代背景を自分なりに勉強しました。生活形態が全く想像の域を出ないので、あとは演出の袋正さんにお任せして、生活の匂いですとか学生の有様とかをお教え頂きました。僕自身は人から言わせると、几帳面すぎて硬いとか真面目すぎると良く言われるんですけど、そんなに几帳面じゃなくても、あとは実際の稽古の最中に、動きですとかそういう事を演出頂きました。初演はもう6年前になるわけですが、その頃はそれに従ってずっと言われることを踏襲しようと、ひたすら努力しました。それから小説の世界で田宮さんの描かれているものを何本か読んで自分なりに想像しました。あとは病気の役ですから、なるだけ物を食べないようにして太らないようにしています。僕も三十八歳になりますから結構付く所には付いてきてしまっています。

Q 劇中で死という事を取り上げているわけですが真剣に考えたり、自分自身の体験的な事とかありますか。

(A) いっぱいありますね。自殺と言うか、自分の生き方というのに迷った時期がかなりありますんでそういう時はやはり。間宮龍彦は色々な時代状況とか、母親の死とか、仕事がない、病気の死とか、色々重なって本当に行き場のない状態での、なんと言うか逃避と言うだけではなくて、なんかもしかしたら死への憧れもあるのかな、死ぬ事によって唯一己を証明できるというか、最後の悪あがきといううか、そんなところがもしかしたらあったのかもしれないですけど、自分の経験で言うとかあまりそうではなくて、ただ単に周りの自分を取り巻く環境から逃げたいと言うそれだけの経験しかないですね。今から思うと、それを心底思った時は、真剣に思っているものですか、周りから何を言われても聞く耳をもてないと言った、そんな状況だったと思います。

Q 桐朋学園に入られていたようですが入られたきっかけと俳優

座との出会いはなんですか。

(A) 俳優座との出会いは桐朋学園からの推薦であって、それまでは俳優座の芝居を観た事がありました。新劇自体観たことがありませんでした。新劇との出会いは桐朋学園の授業の中で、試演会という形である時期から稽古を始めて作品を作っていくわけですが、それまでよく初めて新劇を知ったようなもので本当に不勉強なんです。学園ではがむしゃらにやっていただけです。小さい頃テレビマングが好きで声優になりました。高校の時、「なるにはブック」というのがありまし



て、声優になるにはというのを讀んだら、声優さん達は声だけを中心にやられているのではない、演劇と切り離して考えるものではないと書かれていました。それでは演劇をと思いい、演劇部とアニメーションサークルに入りましたが、アニメーションサークルはセル画に色を塗る作業が中心だったのでこれは違うなと思いい演劇部の方に進んだ時に、これは面白いと思いいました。

都の大会に出たりして芝居が面白く楽しくなりました。進路相談の時に一般の会社が思いい浮かばなく、自分のやりたい事はと考えた時に親には迷惑を掛けました。自分が仮だけで芝居を選び桐朋学園に行つた訳です。洋画の吹き替えも何本かやりました。NHKの海外ドラマ、ERや北京パイオリンです。最近の映画の吹き替えはプロの声優さんが、海外ドラマは新劇の役者がやる事が多いのですが、雰囲気違ってプロの声優さん達の世界には入り込めない気がしています。僕の場合どうしても役の心理面をきちんと掴まないと出来ないのです。それを掴むまで棒読み状態です。もつと出さないといわれて出しているつもりでも自分の中で心理面を掴みかねている所はエネルギーが絶対出ないんです。一つのアプローチとしてそれでもエ

ネルギーを無理矢理出していく事から心理面が逆に掴めたりする事もあるんで稽古の様子で色々なやり方をやっています。

Q 理想とする俳優さんはいらっしゃいますか。

(A) 矛盾するんですが、エネルギーのある俳優さんが好きです。特にギラギラした俳優さんが好きです。佐藤浩市さん等自分には無いものがある。三船敏朗さんも好きです。欲しいと思つて出てくるものではないが、生き様とかもの凄い経験した中身と言いたいと思います。色々な役を通して経験した歴史の流れが自分の中に流れていてそれを踏まえた上での今回の「足摺岬」は演じていて楽しいです。ペテランさんの言われる、板の数で段々よくなっていくんだからと言う中には、役を通しての色々な経験が人間性を深めていくんだな、だから自然と表現ができたり、相手に対する愛情が持てたり応えられたりが自然にできて来るのだな、と思います。

次回、豊橋に9月例会「東京原子女核クラブ」で来られるそうです。戦争反対派の間宮青年とは違った相対する海軍少尉の役を演じられるそうです。楽しみです。

『足摺岬』



- 感想文 -

す。それには演劇を見ることも入ると思いました。

明るい未来が来るといいネ!

ゆう3 水野

登場する人達のつらい過去、それを表には出さず懸命に生きていく様子や人の優しさが描かれており現在の世の中、自分自身を見直し、反省を促すようなお芝居でした。風の音、本当の水を使った嵐がより効果をあげていたと思う。暗くなりがちな内容だが子役がそれをやわらげており明るい未来を感じることができました。

生きる希望があふれた芝居!

とんぼ玉 仁科あさ代

始め、暗い物語だと思っていたが、見終わって、生きる希望にあふれた物語だったと思いました。

清水屋の女主人が、自分にも色々辛い事があるにもかかわらず明るく周りの人の世話をやきながら前向きに生きていく姿に感心し、

そして、自殺を試みた若者に、『可能性のある若者が死を選ぶのか』と、ひねくれた根性を諷める怒りに共感した。

若者間宮が、最初の暗い雰囲気から明るい未来に旅立つ生気あふれた若者に変貌していく姿が印象的でした。

そして、浜田寅彦さん演じる老遍路の言葉『人間は一つの希望があれば生きられる』と云う事に本当にそうだと思いました。それにしても浜田寅彦さんの80才を越えても元気で張りのある演刺とした台詞、演技には感服しました。

生きることの意味

ぎやらり〜亜沙 坂井あさ代

人間は、いつも死に向かって生きています。だからこそ、生きるこの意味を問う芝居に出会うと、私は、これでいいのかしらと自問自答してしまいます。人は人によって変化し、成長し、やさしくなれるのですね。人と出逢うことは必然です。生き方、思想の思いの

同じくした人、又違った考えや見方が出来る人、どの出逢いもすてき。

やさしい心が人の生きる力に!

すずかけの木 斎竹峰子

昭和の初期、今の時代に比べたらとても不便な時を一生けん命に明るく生きる人々が助け合って生きていく姿が心に残りました。

やさしい心が、人の生きる力になる。すばらしいことだと思えました。

今回、声が聞き取りにくいところがあつたので残念だと思いました。

最後はさすががしかった

でしべる 大谷美花

生と死について考えさせられました。「生きようとして死ぬ人もいれば死にたくて生きた人もいる。」世の中でも、年齢の上下に関係なく死が身近にあると感じることはかりです。身体を大切にしたいと思つこともよくあります。「生きる目的は一つあればいい」のだから、その一つを見出すための出合いの場が社会に増えて欲しいで

巡礼お鶴

上原清永市長老 探譜 古良長幸



精いっぱいやったらし…

とんぼ 梅崎幸代

俳優座の方達の演技力によって人の優しさ、厳しさが、よく表現されていて素晴らしかったです。

劇中、間宮を励ますシーンで、精一杯やったら、自分が愛しくなるという言葉が、何か感じるものがありました。

出会いと関わりと命

翼 桑野康子

ここで出会った事の意味を、関わりの中で考えてみたり、感じていく。昭和初期と感じないでいる私自身が居ました。私と出会った人々、あえて関わり合おうとしてくれる人々、嬉しい必然的なものを感じずにはいられません。命を生かし続ける作業を、観劇と搬出で再確認した夜でした。



人は一人だけでは生きられず…

サンドイッチ 小山ひろみ

生きる希望を失い死と向きあう青年の姿が舞台全体に流れ、会場の私達をも重苦しい雰囲気にならせたのは、劇団俳優座の皆様の演技力と感服いたします。

人は一人だけでは生きられず、色々な人との関わり、助けによって生きていけるのだと思います。修證義に、愛語といふは衆生を見るに先づ慈愛の心を発し、顧愛の言語を施すなり」とあります。

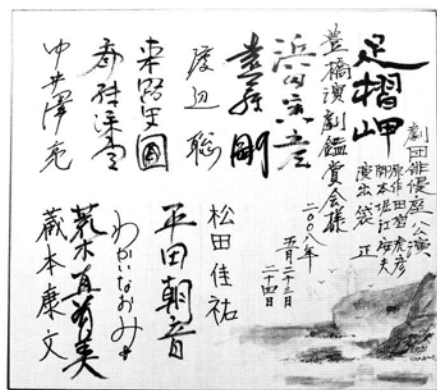


人々と、交わるに必ずいつくしみの心を持ちおもしろい言葉が発するのである。つまり母親の吾子に対する心であるということですから。今回の劇の中でこの愛語が大切なのだと感じました。

勇気づけられました

みと小径 T・H

久しぶりに真正面から「生きること」を見つめた作品に出会いました。喜劇もよいけれど、私はこういう後々何か残る作品がすきです。「生きる意味は一つあればよい。」と言った老人の言葉や辛い思いを抱えながらもやさしく懸命に生きる女主人や老人の生きざまに勇気づけられました。役者の皆さん、どなたも上手でしたが、特に子役や老人の演技が光っていました。



運営サークルのページ

第205回例会
劇団俳優座
『足摺岬』

例会日
5月23日(金)
5月24日(土)

運営の感想

増えたよ、増えたね

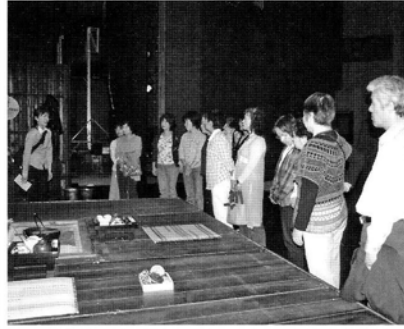
ギャラリィ 亜沙 坂井

今回、みんなサークルで準備してサークルで増やそうとしましたが、第四回でも半分しか拡大できず、五回目の運営サークルもやるうと決めました。それからでした。ゆっくりのメンバーとともに頑張ったのは、サークル三人で入ってもらおうとした提起でした。サークルクリアーはなんと11サークル増。51名の入会でクリアー。やったね!!

お芝居を二倍〜三倍楽しむ方法

ゆづこ 高木

今回の足摺岬の運営サークルを担当して、私はお芝居を二倍も三倍も楽しむ事ができました。数回行われる例会打合せには積極的に参加すると俳優さんの事やお芝居の見方、裏話などいっぱい情報を下さるので本番がとっても楽しみになるのです。正直見方がかわ



りますね。又、同じ目的に向かって皆で協力し合い達成を喜ぶことができます。今度はあなたが楽しむ番ですね!!

初めて搬出を担当して

翼 市川陽子

入会して六年、今回初めて搬出を担当しました。いつも素晴らしいと思うのは舞台装置がシンプルであるけれども色々な工夫で何通りかの場面が展開出来るようになってきていることです。団員の方々のてきぱきとした誘導でみるみる舞台装置は解体され短時間で元の姿に戻されました。舞台の裏側を見ることが出来る有意義な例会でした。

小道具や雨を降らせる装置にひかれて…

オリオン Y・S

今回、足摺岬の運営サークルの特典として、舞台裏を見せて頂くことができました。小道具や雨を降らせる装置に興味をひかれたが、それより何より一番気になったのが舞台から客席がどう見えるかであった。と言つのも私達のサークルは座席に着くとついうとうと。客席から舞台は遠いのに、舞台から客席は思っていたよりずっと近く、居眠りもすくわかつてしまふ。

真剣に演じている役者さんに失礼だったと反省しきり。ところが今回またまたやってしまった。座席は「つ」列、舞台から遠くセリフも聞き取りにくく、舞台は暗く淡々と芝居は続く。帰り道「初めの場面が後半また出てきたけど、あれって回想だったのだからか。」「原作を読んでもみようか。」本当に失礼な会員たちである。

久しぶりの搬入担当

赤ずきん4 山口

スタッフや俳優さんのキビキビしたあいさつや動きに感動され体が動きました。トラックの中にはしっかり道具が入っていてまるでマジックを見ているように次から次から道具が出て来ました。私の運んだものがどんなふう

触れ合い

とんぼ 梅崎幸代

初めて例会の運営に参加し、たくさんの人達の協力により成り立っているのだと改めて感じ、私にとつては、久しぶりの心地いい皆さんとの触れ合いでした。又、俳優座の方達とも身近に接する事ができ、嬉しかったです。

初めて運営サークルに参加して

みと小径 Y・S

「足摺岬」に出演される遠藤剛さんのお話を聞くことができました。俳優の方も人前で話す時、緊張されると知り親しみを感ずりました。又、劇の裏話も知ることができ、生きる力が湧いてくる劇のように感じました。こうしたお芝居を観られる機会を持ち続けられるよう、今後もこの鑑賞会が続いてほしいとの思いを強くしました。

いろいろな話が聞けて…

すずかけの木 太田和子

仕事をしているので、いつも参加出来なくて申し訳ありません。今回久しぶりに仲間に入れていただきありがとございました。いろいろな話が聞けて楽しかったです。



「足摺岬」で新しく誕生したサークル紹介

コンジュ(3名)

“松竹梅”から根分け!サークル名の由来は韓国語で“お姫様”という意味です。

技科大総合文化部(4名)

技科大生4名の新サークル!大学のサークルメンバーです。

高見20(3名)

“翼”サークルが声かけをし、豊川高見20の町内で1つ新サークルができました。

宝陵(3名)

同じ職場の人を別のサークルの人が声をかけてくれて2名から3名のサークルになりました。

国府(3名)

“小坂井”から分かれて国府高校でサークルをつくりました。

若紫の蕾(3名)

“ギャラリー亜沙”から根分け!長男の彼女と三男を誘いサークルができました。

桜の園(4名)

長年1名の準サークルでしたが転動してきた3名が異動してサークルになりました。

泰山木(3名)

別のサークルの人が誘った人が家が近所だったので“泰山木”に入ることになり3名のサークルになりました。仲良しなのにお誘いしてなかったね。サークルになってうれしい!

ねこまたぎ(4名)

“池のこい”から根分け!姉のサークルから独立しました。

かも(3名)

“ころころ”から根分け!夫と義母と3名でサークルをつくりました。

だいごんの花(6名)

夫婦2名の準サークルでした。自分が誘わなくても誰かがやっているので演劇が観られるのがあたりまえと思っていた。このまま会員が増えないと鑑賞会がなくなると聞いて会員みんなでやらないといけなかった。娘2人と友人を誘って6名のサークルになりました。

遠藤剛さんからハガキが届きました

前略。免ください。
「足摺岬」担当サークルの皆様、この度は4月の学習会を含め、大変お世話になり、ありがとうございました。何ヶ月も前から準備をされ、周りの方に声を掛け、前回は上回る会員の方々に迎えて頂き心からうれしく思っております。そして沢山の美味しいご馳走を梁屋に差し入れて下さり、本当にありがとうございます。今、岐阜におりますが、昨日は30度になったそうで、初めて舞台で汗ばむ陽気でした。

遠藤 剛 (5/27記)

何よりの喜びですが、こうして温かく迎えてくださる皆様のお力があってこそ、各地の舞台を踏めるわけで、誠に感謝に堪えません。今後共、皆様のご期待に添える作品を創り続けて参りたいと存じますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。
豊橋演劇鑑賞会のご発展をお祈り申し上げますと共に、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。先ずはお礼まで。

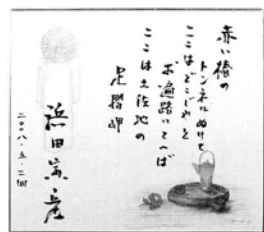


～ 新入会を迎えたサークル～

数字は入会者数、太字は運営サークルです。

ぺチャクチャ 2	キ ャ ッ ツ 2	み と 小 径 1
三 鈴 2	し で こ ぶ し 1	若 紫 の 蕾 2
池 の こ い 1	G B E 1	宝 陵 1
ゆ う 2 5	だいごんの花 4	YDCエンジェルズ 1
泉 1	ぎやらりー亜沙 3	枝 折 戸 1
和 1	技科大総合文化部 4	泰 山 木 1
葉 月 1	T レ ッ ク ス 1	高 見 2 0 3
ゆ う 1	か も 1	夢 見 人 1
テンダーウーマン 3 1	テンダーウーマン 1	翼 1
サルスベリ 1	お せ き 飯 1	おりえんと 2 1
オ リ オ ン 2	希 望 の 帆 1	

運営サークルのまとめ



劇団 俳優座公演
「足摺岬」

第1回運営サークル会

3月13日、20サークル26名の参加で、第1回めの運営サークル会を行いました。サークル交流会の報告の後、サークル紹介・自己紹介を行い、会員同士のことを知り合いました。そして、サークルとは何をするところなのか、時間をとって話し合いました。さらに、運営サークルとは何をするところか、例会当日の担当だけでなく、劇団と一緒にやって例会を成功させること。お芝居の魅力を広げて各運営サークルで1名の新入会を迎え、そのことで前例会をクリアしてい

くこと。加えて、サークルを増やすことが確認されました。

第2回運営サークル会

4月19日、28サークル35名の参加。劇団俳優座の遠藤剛さんをお迎えして演劇講座を開きました。「足摺岬」の作品について原作とは違ったおもしろさがあること、「もう一度やってみよう」という気持ちになれること、そして老遍路役の浜田寅彦さんの演技のこと、俳優座という劇団のこと、ご自身のことをつくり語っていただきました。

その後の運営サークル会では遠藤さんのお話の感想を語りながら、会員数でもサークル数でも前例会を上回るという目標を確認しました。

第3回運営サークル会

4月22日、17サークル17名参加。前回の演劇講座の感想を出し合いました。「自殺者が3万人を超える今の時代に、昭和8年の話だが、通じるものがある」「人間は変わるもの、話に自分も変わるかも。誘った人も変わることを信じて誘ってほしい」「観て終わりではなく、お芝居の感想を仲間と語るところが鑑賞会の良い所」「話し合いたい、こういう時間を持つ

ことが楽しい。これが、鑑賞会の魅力」などの意見が出され、お誘いの輪を広げていくことが確認されました。

第4回運営サークル会

5月8日、30サークル31名参加。運営サークルの取り組み状況や前例会クリア、サークルクリアについて話し合いをしました。また、劇団と楽しく交流していくためにインタビュー、パックスステージツアー、ロビー交流会、カーテンコール、小夜食の参加についても話しをしました。入会が退会を上まわっていない中で、このままでは例会を迎えられないと臨時の運営サークル会を開くことを決めました。その後の運営委員会では各運営サークルの会員一人一人に手紙を出し、会の現状を伝えていくことになりました。

臨時の運営サークル会

前例会クリアが達成できていないため、5月の15日に昼、16日に夜の臨時の運営サークル会を開きました。15サークル16名の参加。年間300名が退会をする中で、会員を増やし続けなければ、6年ほどで鑑賞会が消えてしまうという話に、「自分が何もしなくても誰かがやってくれる」と思っていた。なくなってしまうのは、豊橋で芝居が観られなくなってしまう」とさつそく声をかけに出かける会員さん、「ひとり増やしたから良い」と思っていたけれど、もう一度声をかけてみる」等の意見が出されました。運営サークルに声をかけ、再度、代表者だけでなく、会員にも依拠して仲間を広げていくこと、例会まであきらめずにお誘いをしていきましよう」と確認

しました。

第5回運営サークル会

5月28日、9サークル10名参加。例会日までに会員数もサークル数も前例会クリアができ、うれしさでいっぱい運営サークル会でした。

運営委員

- 高木康子(ゆづり)
- 渡会敦子(夢見人)
- 片岸初江(三鈴)
- 梅崎幸代(とんぼ)
- 仁科壮郎(とんぼ玉)
- 太田雪子(ころころ)
- 坂井あさ代(ぎやらのくま紗)
- 杉浦伸枝(池のこい)

会員数

3月「嫁も姑も皆幽霊」2,005名
5月「足摺岬」2,006名

入会51名 退会50名 +1名

サークル数

+11サークル -5サークル 323サークル
(新サークル2 根分け5 サークル化4)

運営サークルの活動

運営希望サークル 50サークル
参加サークル 48/50サ 96%
入会を迎えたサークル 15/48サ 31%
入会数 31/51名 61%

例会参加状況

5/23(金)ヨル 829名
5/24(土)ヒル 810名
計 1,639名
参加率 81.7%

「原作と違ったため活力が出た。見終わった後、良かったと思えるさわやかな芝居」「時代背景が現代と通じるものがあつた」「死ぬことにはあれこれ理由をつけるが、生きるとは理由がひとつあれば良い。のことが心に残つた」「臨時の運営サークル会の時に入会が25名と言っていたのに、例会日にクリアができていてびっくりした。サークルの力はすごい」。最後に色紙とパンフレットの抽選会を行いました。

運営サークル会の日程

7月「アルジャーノンに花束を」

第5回 運営サークル会
7/9(水) 2:00～と7:00～

9月「東京原子核クラブ」(日程案)

第1回運営サークル会
7/11(金) 2:00～と7:00～

第2回運営サークル会
7/23(水) 2:00～と7:00～
(演劇講座)

第3回運営サークル会
8/6(水) 2:00～と7:00～

第4回運営サークル会
8/26(火) 2:00～と7:00～

第5回運営サークル会
9/18(木) 2:00～と7:00～

(運営サークルの話し合いにより、
日程を変更する場合があります。
運営サークルの出す案内には必ず
目を通し、確認しましょう。)

ノーベル物理学賞を受賞した朝永振一郎博士の青年時代を、「赤シャツ」など傑作を生み出したマキノゾミが渾身の力で描いた青春群像劇です。「東京原子核クラブ」を運営サークルの手で成功させましょう!

9月例会「東京原子核クラブ」の運営サークルのみなさん

Aグループ	Bグループ		
若妻会	オンチッチ	垂多里	小坂井
ポプラ	KEY	茜	霜月会
いまさら	アルハンブラ	星 影	姫柴苑
しじゅうから		む ぎ	みやまじ
ラムジー		マイカ	エルカ
枝折戸	Cグループ	Dグループ	してこぶし
ポップ	エメラルド	WAI WAI	松 月
弥生	せせらぎ	えん	こすもすC
ふなまち	マーガレット	生活向上委員会	こすもすB
メリーポピンズ	ウッドストック	小町	こすもすA
E T	子どもぐり	さくら草	赤ずきん3
わすれな草	若 葉	ドリカム	同級生
アクアビット	カトレア	豊川工業	
ゆうな	虹	うつせみ	(50サークル)

開演5分前の中央づめについて

* 舞台と観客の客席を緊密にして観劇しましょう。

開演5分前の1ベルの後、運営サークルの指示で、会場中央に向かって座席の横づめをします。

* 開演に遅れた方は、2階席へ。
休憩後は指定座席の「列」の空いた席に詰めてすわりましょう。

例会会場内の飲食・喫煙、および写真撮影はできません。
例会会場内では、携帯電話、アラーム時計等々の電源をお切り下さい。会員みんなで気持ちよく観劇できるように、協力しましょう!

鑑賞会活動日程

『東京原子核クラブ』観劇希望日〆切日

8/7(木)

『東京原子核クラブ』座席シール渡し期間

8/22(金)～8/28(木)

『東京原子核クラブ』例会日(2ステージ)

9/12(金)		(ヨル)6:45～
9/13(土)	(ヒル)1:30～	

『アルジャーノンに花束を』後の退会手続き期間

7/7(月)～7/15(火)

中部・北陸ブロック活動日程

8/2(土)～3(日)	ブロック拡大幹事会(名古屋)
10/18(土)～19(日)	ブロック総会(岐阜)

<事務局のお盆休み:8/13(水)～8/17(日)>

例会の感想や運営についてのご意見をどんどんお寄せ下さい。

☪ 豊橋演劇鑑賞会のメールアドレス ☪ enkan76@mx2.tees.ne.jp